

＊2024 年度以前に履修登録された EH45（チームワークの心理学）とは別科目になりますのでご注意ください

専門教育科目

講義科目

授業科目名	チームワークの心理学	科目コード	配当年次	単位
担当教員	永山 祐輔	EK64	3・4	2
科目の概要				
近年まで日本人はチームワークを発揮するのが得意だと言われてきた。しかし成果主義が導入されてから、自己の業績を重視することや自分さえミスをしなければ良い、というような認識が浸透してしまった組織も多い。 本科目では、社会心理学の領域が扱う集団研究の成果を踏まえ、「個人」「集団」を超えた優れたチームワークを発揮するための様々な知識・方法について理解を深める。				
科目の到達目標				
①チームワークの概念や基本的理論を理解し、チームワークの本質を十分理解することができ、適切な表現で記述することができる。 ②本科目で得た知識・理論・方法論に基づき、自分自身の体験を分析し考察して、自らの省察力を高め、良好なチームワークを築くことができる。				
テキスト	『新版 チームワークの心理学』山口 裕幸,サイエンス社,2024年			
テキストの読み方				
①「集団」や「社会」、「チーム」などの概念を整理し、説明できるようにする。 ②各章で記述されている研究成果や理論を十分に知り、端的に説明できるようにする。各章で、“人名(年号)”と記述されている箇所は、先行研究の成果や理論などについて述べられている。例えば、テキスト p.10 “広田 (1981)”の部分では、集団の定義について述べられている。こうした部分を重点的に学習しておくとうい。 ③第1章「概念」、第2章「測定」、第3章「発達」、第4章「効果」、第5章「育成」についてまとめられている。それぞれを整理した上で理解し、相互の関係について自分なりに考える必要がある。 ④組織やチームの問題や、組織やチームを扱う社会心理学の利点・欠点などを理解する。				
単位修得の方法				
リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。				